

齋藤さんからQNXのパッチが来たので当てる

2013/04/25 00:24 - n-ando

ステータス:	終了	開始日:	2013/04/25
優先度:	通常	期日:	
担当者:	n-ando	進捗率:	100%
カテゴリ:		予定工数:	0.00時間
対象バージョン:			
説明			
<p>齋藤さんからQNXのパッチが来たので当てる</p> <p>カワダロボティクスの齋藤です。</p> <p>src/lib/rtm/testsの下でのテストも実行した結果、次のようになりました。</p> <p>Linuxでは Manager, ManagerConfig, ManagerServant, ModuleManager, Outport, PublisherNew, RTObject, RingBuffer, SdoConfiguration がテストを通りませんでした。 QNXではこれらに加え、CORBA_IORUtil, ConfigAdmin, InPort, SystemLoggerがテストを通りませんでした。</p> <p>Linuxはおそらく使用で来ているはずなので、QNXのみ失敗するテストが通るようにフィックスを行い、SystemLogger以外はテストが通るようになりました。 CORBA_IORUtil, InPortはNULL stringの出力時にsegmentation faultで落ちるところがありましたので、パッチすることで対策しました。ConfigAdminは浮動小数点の等号比較をしていたところで失敗していたため、条件に合わせて不等号でテストするようにしました。</p> <p>ただどうしてもSystemLoggerのチェックを通すことができません。失敗しているのはtest_setNameの中で、 rtclog.header(rtclog.RTL_DEBUG); を実行した後の、 CPPUNIT_ASSERT_EQUAL(std::string(" DEBUG: "), s0.str()); です。同じファンクション内で後に行っているテストでも失敗します。実際に返ってきているのは""です。RTC::Loggerの中のheader関数でLogStreamに代入されている内容を表示させると" DEBUG: "が入っていることはわかります。どなたかよい序言はありますでしょうか？</p> <p>よろしくお願いします。</p>			

関係しているリビジョン

リビジョン 2523 - 2014/03/14 10:48 - n-ando

[compat,->RELENG_1_1] QNX patch from Saito-san have been applied. refs #2672

リビジョン 2523 - 2014/03/14 10:48 - n-ando

[compat,->RELENG_1_1] QNX patch from Saito-san have been applied. refs #2672

リビジョン 2523 - 2014/03/14 10:48 - n-ando

[compat,->RELENG_1_1] QNX patch from Saito-san have been applied. refs #2672

履歴

#1 - 2014/03/14 09:48 - n-ando

- 対象バージョンを RELEASE_1_1_1 にセット

#2 - 2014/03/14 10:49 - n-ando

- 進捗率を 0 から 90 に変更

r2523にて対応。

#3 - 2014/03/14 12:18 - n-ando

- ステータスを新規から終了に変更

- 進捗率を90から100に変更

#4 - 2015/07/10 23:34 - n-ando

- 対象バージョンを削除 (RELEASE_1_1_1)

ファイル

qnx.patch.bz2

6.33 KB

2013/04/25

n-ando